

01 SDGs（教育）私募債（寄付寄贈型）における寄贈

砂原中学校へ行事用テントを寄贈

8月28日、北洋銀行は、町内で水産加工業を営む株式会社小泉水産が発行した「SDGs(教育)私募債」を活用し、砂原中学校へテント一張りを寄贈しました。

本私募債は、企業が発行した額の一部を北洋銀行が道内の学校へ寄付する仕組みです。同社代表取締役の小泉満さんは、過去にPTA会長を務めた経験があり「これから体育祭等の行事で役立ててもらえたら嬉しいです」と話しました。



前列生徒会役員の皆さんと小泉代表／後列左

02 学校法人玉川学園と森町との包括連携に関する協定締結式

地域活性化と人材育成を目指して

森町と学校法人玉川学園は、教育や地域創生などの分野で相互協力し、個性豊かなまちづくりと人材育成を目的とした包括連携協定を8月20日に締結しました。

玉川大学リベラルアーツ学部では、授業の一環で2012年から森町を拠点に地域課題に向き合う実践型教育プログラムを展開しており、これまでに延べ200名以上の学生が参加。さらなる地域活性化と持続可能な連携の発展を目指します。

学校法人玉川学園と北海道森町との 包括連携に関する協定締結式



道南スギでできた協定書を手に写真におさまる小原芳明理事長／左

03 第45回森町夏休み子ども工作展表彰式

身近なものが個性あふれる作品に

9月10日、森町砂原公民館で第45回森町夏休み子ども工作展の表彰式が行われ、90作品の中から、青山惺哉さん（さわら小・2年）、佐藤綺知華さん（森小・3年）、今井愛心さん（森小・5年）が最優秀賞に選ばれました。毛利教育長は「身近なものを上手に使い、ひとつひとつが丁寧につくられている」と細部までこだわった作品を評価し、子どもたちの創意工夫を称えました。



左から青山さん、佐藤さん、今井さん

04 森町消防本部「ふれあい広場」

消防車や救急車に大興奮！

町消防本部で9月13日に「ふれあい広場」が開催されました。会場には多くの親子連れが訪れ、消防車や救急車と記念写真を撮る子どもたちやさまざまな体験を楽しみながら防災について学ぶ姿が見られました。

消防隊員による救助演習では、隊員がロープ等を使って高所から救助者を救出する一連の動きを実演し、緊張感ある活動の様子を披露するなど、消防の仕事を知る貴重な一日となりました。



大きな消防車を背景に笑顔の子どもたち